

株式会社クロダレース

石川県小松市

生産性向上
ものづくり

システム化による生産性向上とノウハウに基づいた 特許製品で飛躍するレースメーカー

同社は1968年に小松市で創業し、一貫してレース生地を開発・製造してきた。その後、1994年に本社および工場を現在地に移転、生産工程のシステム化、最新編機の導入を進め、生産性向上を図ってきた。また、2005年にはデザイン・開発部門を独立させ、(株)KURODA TEXを設立した。近年では、レース生地製造に係る高い技術力とコスト競争力、企画開発力を活かし、端部を切ってもほつれない「フリーカットレース」の開発・販売に注力している。

所在地	石川県小松市国府台5丁目30番地	設立	1978年
電話/FAX	0761-47-8111/0761-47-8118	資本金	5,635万円
URL	http://kuroda-lace.co.jp/	従業員数	80人
代表者	代表取締役会長 吉田 茂男/取締役社長 吉田 英男		



高付加価値な個別受注生産へシフトし、外部環境変化に強い事業への変革

創業時、同社は商社経由の低利益率商品の大量見込生産が主な事業であった。しかし、商社を介さない製品メーカーへの直接取引に舵を切り、高利益率商品の個別受注生産を増加させていった。在庫削減や運転資金縮小による借入金圧縮を通じて、財務面での効率性・安全性が向上した。最近では、これら経営面の強みを活かして、コスト競争力のある高付加価値製品の海外展開や、既存取引先と競合しない分野での自社ブランドの販売をしている。競合他社との差別化と、外部環境の変化に強い事業への変革を目指している。



カスタマイズされた編機

一貫生産体制、在庫・生産管理システム、生産プロセス改善で高い生産性を実現

個別受注生産は、生産性向上には不向きな生産形態である。しかし、同社は①企画・編み・裁断・検品の一貫生産体制、②独自のシステムによるリアルタイムな在庫・生産管理、③各工程での製造条件のマニュアル化や外段取り化、④最新設備の導入による糸供給調整機能の付与などを通じ、競合他社が真似できない短納期かつ多品種小ロットの生産体制を構築している。熟練工に依存しない各工程のスキルの高度化・平準化は、女性にも働きやすい職場環境を提供、これらの取組が高い生産性を実現している。



長年培ったノウハウ

顧客のメリットに貢献する独自製品「フリーカットレース」によるシェアの拡大

同社は、2016年に新製品「フリーカットレース」を開発した。創業から培った製造技術やノウハウを基盤とし、県内協力工場との共同開発、不良品につながる技術課題に対する、県工業試験場の助力を経て完成した。編み込んだ化学繊維糸を加熱して糸同士を接着させる技術を用いて、どの箇所でも裁断しても端部がほつれない。納品先の製品メーカーで、縫製工程の省力化や製品の着用感向上が図られている。競合他社に先駆けたこの製品は、国内、韓国、台湾で特許を取得、国内シェア8割を占めている。



フリーカットレース

生産性向上

ものづくり